

## 注文票

FAX 048-432-7335			
氏名:	住所:	電話:	Fax:
	〒		
新書版 160頁		注文数	
定価: 本体 1400円+税		部	
2004年5月6日発売			
<p>日本僑報社が刊行した主な書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『日中「新思考」とは何か』</li> <li>『日中関係に対する戦略的新思考』</li> <li>『「対日新思考」論議の批判的検討』</li> <li>『中国人特派員が書いた日本』</li> <li>『永遠の隣人 -- 人民日報に見る日本人』</li> <li>『日中相互理解とメディアの役割』</li> <li>『日中ホンネで大討論!』</li> <li>『中国人の見た日本』</li> <li>『日本華僑華人社会の変遷』</li> <li>『華僑社会の変貌とその将来』</li> <li>『中国人の日本奮闘記』</li> <li>『中国の1万2967人に聞きました。』</li> <li>『私が出会った日本兵』</li> <li>『つくる会の歴史教科書を斬る』</li> <li>『新中国に貢献した日本人たち』</li> </ul>			

# とっとり政策総合研究センターでの研究成果を公開刊行

## 日中関係進化への新しい試み

### —「環境協力」をキーワードに

吉林大学東北アジア研究院助教授 沈海濤博士著 日本僑報社発行 | ISBN 4-931490-84-0



#### 著者略歴

沈海濤：1961年中国黒龍江省生まれ。文学博士。新潟大学大学院現代文化研究科博士課程修了。帰国後吉林大学東北アジア研究院政治研究所副所長、助教授。日本近現代政治外交史、日中関係専門。2003年から日本財団法人とっとり政策総合研究センター客員研究員。主な著書に『大正期日本外交における中国認識』（雄山閣）などがある。

#### 【内容紹介】

本書は、東アジアという大きな枠組の中、日中両国民の相互理解と交流を十分に深めていくことによって、感情的な壁を乗り越えることができるという視点から、政府レベルの外交関係の改善とともに、地域交流の拡大と住民同士の相互理解がますます重要となり、より多く隣の国のことを知り、お互いに考え方や行動を理解していく必要があると主張している。

本書は、中国の東北アジア研究、特に日本研究の現状と動向を分析した上で、日中関係の現状を踏まえ、新しい日中関係をいかに築いていくかキーワードの一つとして、環境協分野での日中国際協力促進が、日中両国民の意思疎通、相互理解にもっとも有効で、現実的な方法だと提案した。また、著者が日本で客員研究員として勤めていた過去の一年間に、日本の政治、外交、経済などの各分野に関して考察し、書き下ろした幾つかの短評も収めた。

#### 目次

発刊に寄せて

(財)とっとり総研常務理事 宮谷正信

まえがき

#### 第一章 「対日外交新思考」論争から日中関係の現状を見る

- 第一節 中国における東北アジアおよび日本研究の流れ
- 第二節 東北アジア及び日本研究の特徴と変化
- 第三節 日本研究の新しい動向：「対日外交新思考」論争の意味

#### 第二章 環境協力の促進：新しい日中関係を開けるキーワード

- 第一節 環境保全と社会経済発展のバランスを保つ必要性
- 第二節 日中環境協力の現状と課題
- 第三節 環境教育協力を中心に

#### 第三章 国際理解と協力こそ地域の平和と発展を寄与

- 第一節 『地域間交流が外交を変える』を読む
- 第二節 海外ビジネス成功の要因は何処にあるか
- 第三節 「イラクの遺産」をどう見るべきか
- 第四節 八月六日広島の日

#### 第四章 日中関係進化のために

- 第一節 問題の提出
- 第二節 日中コミュニケーション・ギャップの現状とその要因
- 第三節 国際理解を促進するための提言

あとがき